



少年院の少年たちの 社会復帰サポート活動

多摩少年院の体育で「サッカー教室」を実施したことをきっかけに、ホームタウンにおいて誰も取り残されることのない社会の実現を目指し、地元にある多摩少年院の少年たちの社会復帰をさらに支援すべく、彼らの「職業訓練（職場体験）」にも協力することに。トップチームの練習グラウンド・クラブハウスに迎え入れ、グラウンドキーパーやホペイロの業務体験、さらに選手との対談の機会を提供してきた。本人と家族だけではなく、そもそも貧困問題を含めた社会にも原因があり、また就労人口が減少する今後の社会で彼らにも次の活躍が期待されているため、一般国民にも関心を多く寄せてもらいたく、FC東京も積極的に関わりその発信にも努めている。

活動場所 : 多摩少年院およびFC東京小平練習グラウンド

取組テーマ : 教育

協働者 : 企業／NPO／行政

協働者名 : 法務省、多摩少年院、認定NPO法人育て上げネット

活動で工夫した点

クラブのリソースを活用することにこだわった。少年たちと同年代の選手育成において、すでにJリーグが取り組んできた「よのなか科」のプログラムにヒントを得て、練習グラウンド・クラブハウスが職場体験として十分なコンテンツを提供できると確信し提案した。法務省にも相談したところ強い賛同が得られ、事前に審議官と企画官にも視察に来てもらい、まさに現地で一緒に企画内容を詰められたことが良かった。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

サッカー教室では、少年院の独自のルール（例えば握手含め接触禁止や名前前で呼び合わないなど）の把握や独特の雰囲気慣れるまでに苦労した。職業体験の受け入れも、より多くのことを学び、感じてもらうためにトップチームの公開練習日に合わせたく、少年院側にも日程調整してもらう必要があった。少年院に関して知らないことによる余計な誤解が生じないように、強化部とも少年院側とも連携をかなり密に取り合った。

クラブや地域の活動後の変化

新聞やテレビのニュースでも採り上げてもらえ、一般に広く「少年院」のことに目を向けてもらうきっかけを増やせたことは大きな成果であった。クラブ内でも初回の時と比較して、実施を重ねていくごとに良い意味での特別感が薄れて、自然体に関われるレベルになってきた。また法務省や多摩少年院での評価も高く、それぞれの会議にその後も参加要請を受けて、事例発表をさせていただく機会が増えてきた。



協働者の声

●多摩少年院長の声：小平グラウンドにおける職場見学におきましては、当院在院者に大変貴重な機会を賜り、誠にありがとうございました。第一線で活躍するプロスポーツチームの選手と触れ合い、選手を支える方々のお仕事の一端に触れさせていただき、就労について視野の広がりを得ることに繋がったものと考えております。●多摩少年院 統括専門官の声：職業の中でも、特別な業種であるスポーツ、サッカーに関わる方々の仕事に触れること、話ができること。ファン以上に特別感がある中、少年にとっては大変貴重な実習となっている。●認定NPO法人育て上げネットの声：原さんもFC東京さんも素敵でした。しばらく普段着はFC東京のシャツになると思います。少年も自分の不安な気持ちなどを聞いていただけて笑顔を見せていました。今まで負の経験が多い分、今回のようなたくさんの愛を頂けることはとても大きい経験だったと思いました。●法務省 矯正局 少年矯正課の声：『少年院の在院生たちのことは、少年院に関わり続けるごく僅かな人々だけが、大切に言い合う世界がこれまででした。圧倒的多数の人々にとって、関心のない世界、そうする必要すら考えつかない世界だったと思います。今、変わってきていると、勇気付けられます。本当にありがとうございます！』

参加者の声

参加した少年…練習見学の時間になったときに元日本代表の石川選手にお会いしました。こういうお手伝いをしましたと伝えたら「現役の時も俺はそういう方々に感謝してプレーしていた」とおっしゃっていました。そういうところに感謝できない人は絶対に活躍できないとおっしゃっていました。今までサッカーをやってきた自分にあてはめてみたら、僕はそういうところに感謝できておらず、当たり前だと思っていたと気がきました。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

東京だけではなく全国に広げたい！法務省にも評価され、とても期待されている。クラブの練習グラウンドだからこそ、様々な社会体験と学びがあり、ファン含めて皆が支え合っていることも実感できる。

補足

プロは華やかに見えるが、実際はとても厳しい世界。自主トレの様子も見てもらい、活躍している選手たちこそ、誰よりも努力している。誰もが努力し続けることの必要性、大切さも感じてもらうように心がけた。そしてJリーグで活躍する選手とも直に交流、激励してもらい、出院後の決意をより強くしてもらうようにした。先月の多摩少年院でのサッカー教室には「社会を明るくする運動」で一緒にした、保護司会の皆さんも来てくださった。